

# お客様本位の業務運営に関する取組状況

しんきん証券株式会社

当社は、2017年11月に制定した「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」に基づき、お客様本位の業務運営に向けた取組みを推進しております。

2020年度におきましては、次の取組みを実施しました。

## 1. お客様の最善の利益の追求

- ・お客様の最善の利益の追求のため、月次の業務運営委員会（注）において業務運営状況を評価するとともに、よりお客様のニーズに合った提供商品の選定を行っております。
- ・新型コロナの影響により営業活動が大きく制限される中、電話やメール等の非対面ツールを活用し、お客様に販売した商品の時価や格付等の変動に際し、日常的なフォローアップに努めております。

（注）当社の業務運営に関する基本的事項、証券営業・商品開発等に関する事項を審議する機関

## 2. 利益相反の適切な管理

- ・利益相反管理方針にもとづき利益相反の適切な管理を行うとともに、役員向けコンプライアンス研修において、利益相反管理に関する研修を実施しております。

## 3. 手数料等の明確化

- ・2020年度に設定した投資信託も含め、当社が販売する投資信託にかかる手数料その他の費用について、運用会社と連携して商品概要説明書等に分かりやすく明記しております。
- ・同種の商品との比較等により、手数料水準が適正であることを確認するとともに、手数料水準の見直し等について、随時、検討しております。

## 4. 重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客様の投資判断に役立つ情報を提供するため、WebセミナーやWeb会議、債券発行体のIRを実施するなど、タイムリーな情報を提供できるように努めております。
- ・投資信託の販売において、商品説明資料（シンキングペーパー）に基づき、お客様の投資判断目線に立って、想定される市場環境変化によるリスクを詳しく説明しています。

## 5. お客様に最適な商品・サービスの提供

- ・日次・月次ベースでお客様に提供しているマーケットレポートについて、外部調査機関との提携によって情報内容の充実を図るとともに、よりバランスのとれた質の高い情報を提供しております。
- ・お客様に最適な商品・サービスを提供するため、毎月実施しているプロダクト審査会（注）において、提供している商品の価格・売上の動向やフォロー状況、今後の商品提案計画等の精査を実施しています。
- ・投資信託のラインナップ状況は、国内リート、新たな種類の日本株式マーケットニュートラルのほか、顧客ニーズに基づき、米国債ファンド（為替ヘッジなし）や分散投資型の単位型投資信託および追加型パッシブ投資信託などを設定しております。
- ・分散投資を行うお客様の選択肢を拡げるべく、リスク・リターン、リスクウェイト、ドローダウン等のお客様のニーズをベースにオーダーメイドでマルチアセット型の商品を開発しています。

（注）投資信託、仕組債等の商品に係る業務運営に関する事項やその評価、ならびに新たな商品の計画および販売・提供に関する事項を審議する機関

## 6. お客様本位の業務運営を徹底するための枠組みの整備

- ・新型コロナの影響により営業活動が大きく制限される中、お客様との接点を増やすべく、「既存販売商品へのフォローアップ」、「CS向上への取り組み」および「依頼事項への対応姿勢」を評価する体制を整備しました。
- ・役職員向けコンプライアンス研修において、フィデューシャリー・デューティについての研修を実施しております。

※当社は、信金中央金庫グループ内の証券会社であり、信用金庫をはじめとする機関投資家の皆様や事業法人・地方公共団体・組合・財団等の一般投資家の皆様をお客様としています。